

## 「北育ち元気村花き生産組合」におじゃましました！

空知総合振興局から、北育ち元気村花き生産組合をご紹介します。

北育ち元気村花き生産組合は、平成10年に「北空知の花はひとつ」を合言葉に、北空知管内11JAの花き生産者が団結して設立されました。

北空知地域は、北海道空知管内北部に位置する深川市・妹背牛町・秩父別町・雨竜町・北竜町・沼田町・幌加内町（上川管内）の1市6町からなり、北海道内でも屈指の規模の花き広域産地です。

良食味米の産地で知られる北空知地域ですが、花き栽培については、昭和55年頃より水田転作の一つの作物として導入されました。

様々な品目の花きが生産・出荷されていますが、北海道産花きの主要品目であるスターチスの生産が多く、北空知地区は北海道の約6割の生産額を占める大産地になっています。そのほとんどが関東・関西方面の市場に向け出荷されており、品質と出荷量の安定性から消費地の評価も高いです。

平成11年、一元集荷が可能になった「元気村花き広域集出荷施設」が完成。最新システムにより花の集出荷が合理化され、より安定した品質・大口出荷の対応が可能になりました。

平成24度の北育ち元気村花き生産組合全体の実績は、花卉栽培農家約293戸、作付面積7,650a、出荷本数約2,558万本、販売額約13億2千万円となっています。

平成16年には「第10回ホクレン夢大賞・農業者部門大賞」も受賞しました。

### 《あしがき》

水田転作作物の一つとして経営に取り入れられた「花き」ですが、現在では日本有数のスターチスの産地になっています。スターチスは日持ちがとても良く、枯れた後も「がく」の鮮やかな色が残ります。机やテーブルの上など、手軽に飾ることができますので、この機会に是非「北育ち元気村」のスターチスを身近に感じて頂き、手にとって頂ければと思います。



アラビアンブルー



イエローサンバード



ピンクキス



採花作業



選花・水あげ作業

○写真は昨年7月末に沼田町の石田農場さんにおじゃました時のものです  
仏花としての需要が多いスターチスですが、お盆時期に出荷するためには定植時期が田植え時期に重なるため、作業の効率化に努めているとおっしゃっていました。

(平成24年7月取材、空知総合振興局農務課)